

平成 27 年 8 月 17 日

各 位

委 託 会 社 名 大和証券投資信託委託株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 白川 真
担当者の役職氏名 経 営 企 画 部 近藤龍一郎
(連絡先 03-5555-4946)

平成 28 年 1 月期 中間決算短信 (平成 27 年 1 月 5 日～平成 27 年 7 月 4 日)

大和証券投資信託委託株式会社を管理会社として上場する ETF 銘柄について、以下のとおり平成 28 年 1 月期 中間決算短信 (平成 27 年 1 月 5 日～平成 27 年 7 月 4 日) をご報告します。

記

上場ETF (4銘柄)

銘柄名	銘柄コード	上場取引所
ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス	1365	東
ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス	1366	東
ダイワ上場投信－TOPIX レバレッジ (2 倍) 指数	1367	東
ダイワ上場投信－TOPIX ダブルインバース (-2 倍) 指数	1368	東

*各銘柄の中間決算短信につきましては、次ページ以降をご参照ください。
なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の中間決算短信が表示されます。

以上

平成28年1月期 中間決算短信（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

平成27年8月17日

ファンド名 ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス 上場取引所 東証
 コード番号 1365
 連動対象指標 日経平均レバレッジ・インデックス
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 平成27年10月2日

I ファンドの運用状況

1. 27年7月中間期の運用状況（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年 7月中間期	7,139	(49.6)	7,243	(50.4)	14,382	(100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
27年 7月中間期	—	1,520	480	1,040

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
27年 7月中間期	14,866	483	14,382	13,829.5

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在	
	金額 (円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		6,440,666,754
親投資信託受益証券		7,139,611,534
派生商品評価勘定		444,164,906
未収入金		410,857
未収利息		9,846
差入委託証拠金		841,200,000
流動資産合計		14,866,063,897
資産合計		14,866,063,897
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		6,660,645
前受金		440,840,000
未払受託者報酬		2,254,265
未払委託者報酬		31,560,440
その他未払費用		2,026,360
流動負債合計		483,341,710
負債合計		483,341,710
純資産の部		
元本等		
元本	※1	10,400,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 (△)		3,982,722,187
元本等合計		14,382,722,187
純資産合計		14,382,722,187
負債純資産合計		14,866,063,897

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日 金額 (円)
営業収益	
受取利息	908,640
有価証券売買等損益	611,534
派生商品取引等損益	2,905,960,078
営業収益合計	2,907,480,252
営業費用	
受託者報酬	2,254,265
委託者報酬	31,560,440
その他費用	2,026,360
営業費用合計	35,841,065
営業利益	2,871,639,187
経常利益	2,871,639,187
中間純利益	2,871,639,187
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,730,166,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	2,730,166,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,619,083,000
中間一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	1,619,083,000
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	3,982,722,187

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. ※1 期首元本額	2,000,000,000円
期中追加設定元本額	13,200,000,000円
期中一部交換元本額	4,800,000,000円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	1,040,000口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

	(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	--

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成27年7月4日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数 先物取引				
買 建	28,336,132,000	—	28,776,540,000	440,408,000
合計	28,336,132,000	—	28,776,540,000	440,408,000

- (注) 1. 時価の算定方法
株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1口当たり純資産額 (10口当たり純資産額)	13,829.5円 (138,295円)

平成28年1月期 中間決算短信（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

平成27年8月17日

ファンド名 ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス 上場取引所 東証
 コード番号 1366
 連動対象指標 日経平均ダブルインバース・インデックス
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 平成27年10月2日

I ファンドの運用状況

1. 27年7月中間期の運用状況（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年 7月中間期	3,850	(60.3)	2,530	(39.7)	6,380	(100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
27年 7月中間期	—	1,675	735	940

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
27年 7月中間期	6,865	484	6,380	6,787.9

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在	
	金額（円）	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		2,386,139,110
親投資信託受益証券		3,850,323,747
未収利息		3,647
前払金		256,655,000
差入委託証拠金		372,000,000
流動資産合計		6,865,121,504
資産合計		6,865,121,504
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		257,596,807
未払解約金		206,505,000
未払受託者報酬		1,280,492
未払委託者報酬		17,927,492
その他未払費用		1,151,142
流動負債合計		484,460,933
負債合計		484,460,933
純資産の部		
元本等		
元本	※1	9,400,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	※2	△3,019,339,429
元本等合計		6,380,660,571
純資産合計		6,380,660,571
負債純資産合計		6,865,121,504

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日 金額 (円)
営業収益	
受取利息	453,226
有価証券売買等損益	323,747
派生商品取引等損益	△1,617,047,276
営業収益合計	△1,616,270,303
営業費用	
受託者報酬	1,280,492
委託者報酬	17,927,492
その他費用	1,151,142
営業費用合計	20,359,126
営業損失 (△)	△1,636,629,429
経常損失 (△)	△1,636,629,429
中間純損失 (△)	△1,636,629,429
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,899,287,500
中間一部交換に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	1,899,287,500
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,281,997,500
中間追加信託に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	3,281,997,500
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	△3,019,339,429

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. ※1 期首元本額	1,000,000,000円
期中追加設定元本額	15,750,000,000円
期中一部交換元本額	7,350,000,000円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	940,000口
3. ※2 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,019,339,429円であります。

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

	<p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
--	---

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数 先物取引				
売 建	12,519,205,000	—	12,775,880,000	△256,675,000
合計	12,519,205,000	—	12,775,880,000	△256,675,000

- (注) 1. 時価の算定方法
株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1口当たり純資産額	6,787.9円
(10口当たり純資産額)	(67,879円)

平成28年1月期 中間決算短信（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

平成27年8月17日

ファンド名 ダイワ上場投信－TOPIXレバレッジ（2倍）指数 上場取引所 東証
 コード番号 1367
 連動対象指標 TOPIXレバレッジ（2倍）指数
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 平成27年10月2日

I ファンドの運用状況

1. 27年7月中間期の運用状況（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年 7月中間期	2,460	(57.2)	1,838	(42.8)	4,298	(100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
27年 7月中間期	—	370	60	310

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
27年 7月中間期	4,399	100	4,298	13,867.5

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在	
	金額（円）	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		1,620,643,777
親投資信託受益証券		2,460,224,139
派生商品評価勘定		92,510,326
未収利息		2,477
差入委託証拠金		225,765,000
流動資産合計		4,399,145,719
資産合計		4,399,145,719
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		7,138
前受金		88,130,000
未払受託者報酬		737,989
未払委託者報酬		10,332,400
その他未払費用		1,013,536
流動負債合計		100,221,063
負債合計		100,221,063
純資産の部		
元本等		
元本	※1	3,100,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）		1,198,924,656
元本等合計		4,298,924,656
純資産合計		4,298,924,656
負債純資産合計		4,399,145,719

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間	
	自 平成27年1月5日	至 平成27年7月4日
	金額 (円)	
営業収益		
受取利息		282,438
有価証券売買等損益		224,139
派生商品取引等損益		778,972,004
営業収益合計		779,478,581
営業費用		
受託者報酬		737,989
委託者報酬		10,332,400
その他費用 ※1		1,013,536
営業費用合計		12,083,925
営業利益		767,394,656
経常利益		767,394,656
中間純利益		767,394,656
剰余金増加額又は欠損金減少額		656,097,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額		656,097,000
剰余金減少額又は欠損金増加額		224,567,000
中間一部交換に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額		224,567,000
中間剰余金又は中間欠損金 (△)		1,198,924,656

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. ※1 期首元本額	1,000,000,000円
期中追加設定元本額	2,700,000,000円
期中一部交換元本額	600,000,000円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	310,000口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成27年1月5日 至 平成27年7月4日
※1 その他費用	主に、TOPIX レバレッジ（2倍）指数の商標の使用料であります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。

	(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
--	--

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成27年7月4日 現在			
	契約額等 (円)	うち 1年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引				
株価指数 先物取引				
買 建	8,499,680,000	—	8,593,000,000	93,320,000
合計	8,499,680,000	—	8,593,000,000	93,320,000

- (注) 1. 時価の算定方法
株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成27年7月4日現在
1口当たり純資産額 (10口当たり純資産額)	13,867.5円 (138,675円)

平成28年1月期 中間決算短信（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

平成27年8月17日

ファンド名 ダイワ上場投信－TOPIXダブルインバース（-2倍）指数 上場取引所 東証
 コード番号 1368
 連動対象指標 TOPIXダブルインバース（-2倍）指数
 主要投資資産 親投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 大和証券投資信託委託株式会社 URL <http://www.daiwa-am.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)白川 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)近藤 龍一郎 TEL (03)5555-4946

半期報告書提出予定日 平成27年10月2日

I ファンドの運用状況

1. 27年7月中間期の運用状況（平成27年1月5日～平成27年7月4日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年 7月中間期	1,030	(65.6)	541	(34.4)	1,571	(100.0)

(2)設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
27年 7月中間期	—	240	10	230

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
27年 7月中間期	1,584	13	1,571	6,831.1

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成 27 年 7 月 4 日現在	
	金額 (円)	
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		466,450,858
親投資信託受益証券		1,030,104,595
未収利息		713
前払金		5,196,000
差入委託証拠金		83,085,000
流動資産合計		1,584,837,166
資産合計		1,584,837,166
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		7,219,829
未払金		248,242
未払受託者報酬		376,662
未払委託者報酬		5,273,871
その他未払費用		574,245
流動負債合計		13,692,849
負債合計		13,692,849
純資産の部		
元本等		
元本	※1	2,300,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	※2	△728,855,683
元本等合計		1,571,144,317
純資産合計		1,571,144,317
負債純資産合計		1,584,837,166

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成 27 年 1 月 5 日 至 平成 27 年 7 月 4 日 金額 (円)
営業収益	
受取利息	120,606
有価証券売買等損益	104,595
派生商品取引等損益	△482,515,106
営業収益合計	△482,289,905
営業費用	
受託者報酬	376,662
委託者報酬	5,273,871
その他費用 ※1	574,245
営業費用合計	6,224,778
営業損失 (△)	△488,514,683
経常損失 (△)	△488,514,683
中間純損失 (△)	△488,514,683
剰余金増加額又は欠損金減少額	28,105,000
中間一部交換に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	28,105,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	268,446,000
中間追加信託に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	268,446,000
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	△728,855,683

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成 27 年 1 月 5 日 至 平成 27 年 7 月 4 日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成 27 年 7 月 4 日現在
1. ※1 期首元本額	1,000,000,000 円
期中追加設定元本額	1,400,000,000 円
期中一部交換元本額	100,000,000 円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	230,000 口
3. ※2 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は 728,855,683 円であります。

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成 27 年 1 月 5 日 至 平成 27 年 7 月 4 日
※1 その他費用	主に、TOPIX ダブルインバース（-2 倍）指数の商標の使用料であります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成 27 年 7 月 4 日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1) 有価証券

	<p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
--	---

(デリバティブ取引に関する注記)
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

株式関連

種 類	当中間計算期間末 平成 27 年 7 月 4 日 現在			評価損益 (円)
	契約額等 (円)	うち 1 年超	時価 (円)	
市場取引				
株価指数 先物取引				
売 建	3,132,884,000	—	3,139,750,000	△6,866,000
合計	3,132,884,000	—	3,139,750,000	△6,866,000

- (注) 1. 時価の算定方法
株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1 口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成 27 年 7 月 4 日現在
1 口当たり純資産額	6,831.1 円
(10 口当たり純資産額)	(68,311 円)